

調査研究部会の実践

新学習指導要領が実施されてから今年度で5年目を迎える。本校でも、「確かな学力」を育むべく、教育活動を進めてきた。本校児童の「確かな学力」の定着度を昨年度に引き続き客観的に把握し、更なる定着に向けて、全職員で考え、授業改善に努めていくことに取り組んできた。調査研究部会を設置した理由は以下の通りである。

- ① 全国学力調査・学習状況調査（6年）や県の学力把握調査（3・5年）で、本校児童の傾向を考察する。
- ② 文部省から『基礎的・基本的な「知識や技能」に加えて、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力などを含めた幅広い学力（確かな学力）を育てることが必要」と言われているが、確かな学力を育む際の基盤となる基礎学力の定着の実態を把握できる資料を蓄積していく。

このような観点をもとに、昨年度から、「確かな学力」の中の「基礎的・基本的な知識や技能」を中心に本校児童の実態に焦点をあてた研究を進めてきた。具体的には、児童の実態把握から見える課題点を洗い出し、本校児童に身につけさせたい力を明確にできるよう調査を中心に行ってきた。そこで、生活実態調査の考察をもとに各学年や学習環境部と関わりながら、家庭に生活改善や家庭学習の推進を促すようにした。また、全国学力調査・学習状況調査（6年）や県の学力把握調査（3・5年）のまとめから、本校児童の傾向を見取り、授業の改善・深化に繋がるようにした。

児童の実態から（詳しい考察については、別項参照）

① 健康実態調査より

- ・朝食・睡眠時間・家庭学習時間等、生活リズムの改善が必要。
- ・チェックカードなど活用したり、チェック週間を設けたりして家庭に啓蒙する。

② 山梨県学力把握調査 3年

【国語】〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

△正しい筆順で書くこと

〈書くこと〉

△文の続き方に注意して、順序立てて書くこと

〈読むこと〉

△場面や人物の設定を正確に読み取る

【算数】〈数と計算〉

△繰り下がりのある引き算

〈数量関係〉

△ものの数の求め方を読み取り、乗法の式に表すこと

③ 山梨県学力把握調査 5年

【国語】〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

△修飾と被修飾の関係を捉えること

△指示語が指し示す言葉を正しくとらえること

〈話すこと・聞くこと〉

△話し合いの大事な点に注目して意見を聞くこと

〈読むこと〉

△目的に応じて文章を読み、中心となる語や文、必要な情報を捉えること

【算数】〈数量関係〉

△ものの数の求め方を読み取り、乗法の式に表すこと

〈量と測定〉

△条件をもとに図書館に着く時刻を求め、示された時刻に間に合わない理由を説明する。

〈図形〉

△円と半径の意味を理解し、半径の三分の長さを求めること

〈数量関係〉

△数量の関係を表している図を読み取り、問題意識を判断すること

△数量関係を表している図を読み取り、乗法の式に表すこと

③ 全国学力状況調査 6年

【国語】〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

△漢字の書き取り

△文の中における主語を捉えること

〈書くこと〉

△目的や意図に応じ、新聞の割り付けをすること

△目的や意図に応じ、記事に見出しを付けること

〈読むこと〉

△登場人物の相互関係を捉えること

【算数】〈数と計算〉

△通分する計算 △分数の除法 △四捨五入とおよその数で表す

〈量と測定〉

△日常生活の中で必要となる時刻を求める

〈数量関係〉

△示された図形の色がついた部分の面積を求める

